

前回資料からの変更についての方針

- 形式・内容ともに、前回の資料でほぼ支持されていると判断、大きな修正は施さない
 - 縦軸（内容分類）は、情報教育の目標の定義文により従う形で整理
 - 横軸（発達段階）は、低学年 / 中学年 / 高学年の3段階
 - 教科における情報教育の学習内容については、学習指導要領の記載に従うが、情報教育の観点からの解説を加える
 - 総合的な学習の時間における情報教育の学習活動の記載を具体的にする
 - 情報モラル教育を中学年以降に入れる

前回資料からの変更点

1. 教育方法次第では情報教育として成立するような教科の学習場面について
 - 対応：本表ではあくまで教育内容が情報教育と親和性の高い部分のみ掲載し、現行の学習指導要領の項目との対応をあえて明示する。一方「手引」本文には具体的に例をあげながら情報教育として成立するような教育方法の改善を推奨する
 - 理由：表の煩雑化を避けるため
2. (総合) という記載について
 - 対応：(総合)の記載は残す
 - 理由：総合のみで実施することではないが、書かなければ総合ですら実施されないおそれがあるため。ただし、「総合の教育内容を縛り過ぎないか」という指摘は留保。
3. その他、内容に関する指摘について
 - 対応：現行の学習指導要領の記載範囲で吸収できるものについては取り入れる
 - 中学年：情報手段の特性の俯瞰，高学年：自己の情報活用活動の内省
 - 低学年：(総合)を期待した活動を削除，その他不明瞭な文章を修正